いいたて便り

野球観戦ツアーで東京ドームへ

8/12 8/13 8/19 8/20

▲球場いっぱいの観客と一緒に
プロの迫力あるプレーを観戦

春にも行われた村主催の野球観戦ツアー。８月12日発の第２回、19日発の第３回に、小中学生とその保護者が参加しました。ツアーは春と同様、東京都小石川ロータリークラブの支援により無料で行われした。

バスに乗り東京ドームに到着した一行は、プロ野球の試合を観戦。応援用のタオルを回したり、スティックバルーンと呼ばれる応援グッズを打ち鳴らしたりして応援を楽しむ人も。第３回の観戦ではジャイアンツがサヨナラホームランで勝利し、会場は大いに盛り上がりました。

◀第２回ツアーで観戦する皆さん。好プレーに拍手も

第３回ツアーで観戦する皆さん。大人も子どもも目を輝かせて▶

8/12 露天風呂の中庭を美しく

飯坂温泉にある「いやしの宿いいたて」の露天風呂にある植え込みが、渡邊守男さん（小宮）の剪定で美しく整えられました。暑い中、汗をかきながら作業を行った渡邊さん。「いつも利用させていただいていて、植木の手入れをして、みんなでより気持ちよく温泉に入りたいと思い、剪定させてもらいました」と話していました。

いやしの宿を訪れた際には、露天風呂につかり、その刈り込みの美しさをぜひご堪能ください。

大きな剪定ハサミを使って刈り込む渡邊さん▶

露天風呂の庭を引き立てる仕上がり▼

いいたて便り

8/19 山梨県の応援団から贈られた笑顔のひととき

山梨県からボランティアグループが相馬大野台応急仮設住宅を訪れて、一緒に歌や体操を楽しみました。また、このグループは以前から、被災地のようすを地元の子どもたちに伝える活動を続けており、子どもたちからのメッセージや絵、歌を収めたＤＶＤなどを住民に届けました。

活動を通して親しく交流した後には、外に設置した竹の樋を使って流しそうめんが振る舞われました。そうめん以外にもフルーツなどが流され、参加者は歓談しながら会食。応援の気持ちが温かく伝わる交流のひとときとなりました。

▲ユニークな体操や歌で笑顔もほころびます

▲子ども園の園児からメッセージ

▲グループのシャツの背中には「チームまでい やまなし」

流しそうめんは、おいしくて楽しい▶

「かーちゃんの力」の逸品を相馬で販売 8/19

◀かーちゃん自慢の商品が並びました

「相馬光陽サッカー場」を会場に行われた「夏フェスタ in そうま」。物産販売などを行う「ふるさと交流ブース」に、あぶくま地域の女性農業者で活動する「かーちゃんの力プロジェクト協議会」が参加。浪江町、新地町などの団体と共に、キムチや漬物等の加工食品を販売しました。

会場へは避難中の村民や、村にゆかりのある人が大勢訪れ、商品を購入。定番商品はもちろん、高橋トク子さん（深谷）が作る新商品の「トマトのキムチ」なども人気を集めていました。

◀試食で味に納得、まとめ買いをする人も